

科目名	(D) コミュニケーション論研究 (2019年度以降入学者) 英語文化研究 (2018年度以前入学者)	担当者	柿田 秀樹
開講期	通年	単位数	4単位
【概要】		【授業計画】	
<p>Jonathan Crary の『The Techniques of the Observer』の講読を通じて、近代の視覚メディアと主体形成の歴史を考察していく。同時に、テキストが理論的・歴史的な下敷きになっているミシェル・フーコーの『The Order of Things』を参照しつつ、理解を深めていく。</p> <p>近代の主体とメディアを理論的に理解するために必要なことは、17世紀以降の歴史と文化の中でその変化を捉えていくことである。このメディア文化史を実証的に論じた著書を綿密に精読していく。</p> <p>履修者は必ず事前にご連絡下さい。</p>		<p>1. 『The Techniques of the Observer』の説明 2～27. 『The Techniques of the Observer』の講読と解釈 28. まとめ</p>	
【到達目標】		【事前・事後学修の内容】	
コミュニケーション論に関する文献を読み、より高度な議論ができるようにする。		教科書と文献の予習復習、発表の為の準備。	
【テキスト・参考文献】		【評価方法】	
Jonathan Crary. <i>Techniques of the Observer: On Vision and Modernity in the Nineteenth Century</i> . Cambridge, MA: MIT Press, 1992.		学年末のレポート (50%)、授業での発表 (50%)	
Michel Foucault, <i>The Order of Things</i> . Vintage Books, 1970.			